

今度は紙芝居で雑賀川の戦いがよみがえる！！

—紙芝居というなつかしさに触れてみませんか??—

昔、この地が雑賀の国と呼ばれていた頃、織田信長は10万人の大軍を率いてこの国を襲います。大阪石山本願寺の侍大将をつとめた雑賀を一気につぶしたいという戦略でした。しかし、雑賀衆は仲違いをおこしつつも最後は神のもとに一致団結して、海辺や紀ノ川河口部につくった障害物、更に鉄砲隊と海軍力で信長軍を翻弄しました。そして、信長軍が退却するまで、2週間も持ちこたえました。そのまま和睦を持ち込みました。信長軍が撤退すると、神の力で勝ったと大宣伝を展開しすぐに和睦を破棄して本願寺方に戻り、信長を襲ったと言われています。

今年の3月3日には、雑賀小学校と矢宮神社で雑賀川合戦伝承日を記念して、和歌山県の印南地方から雑賀衆をお招きし、雑賀踊りをこの地に復活させました。是非とも、これを機に今後も地元の歴史を伝承してほしいと考え今回の紙芝居を企画しました。

夏休みの自由研究はこれで決まりだ！！

—プロローグ—

二人の少年がヤタガラスを探しに夜の矢宮神社の森へ、

そこで見たものとは…

1577年、雑賀の地で起こったこととは。孫一って？

ヤタガラスって何だ？

戦国時代の和歌山を描く

スペクタクル紙芝居！！

これで雑賀の歴史がわかるかも！？

お楽しみに！！

作画

@池 chan

